文部科学省

光・量子飛躍フラッグシッププログラム（Q-LEAP）

第2回 シンポジウム

参加費 無料（要事前申込）

文部科学省は、経済・社会的な重要課題に対して、量子科学技術（光・量子技術）を駆使して非連続な解決（Quantum Leap）を目指す研究開発プログラム「光・量子飛躍フラッグシッププログラム（Q-LEAP）」を平成30年度にスタートさせました。本事業では、量子情報処理（主に量子シミュレータ・量子コンピュータ）、量子計測・センシング、次世代レーザーの3つの技術領域毎に任命したプログラムディレクター（PD）の研究開発マネージメントのもと、異分野融合、産学連携のネットワーク型研究拠点を形成し、Flagshipプロジェクトと基礎基盤研究を実施しております。
本事業も1年余が経過し先駆的な研究成果が創出されつつありますことから、3つの技術領域のFlagshipプロジェクトにおけるネットワーク型研究拠点の状況と研究進捗概況を中心に紹介いたします。

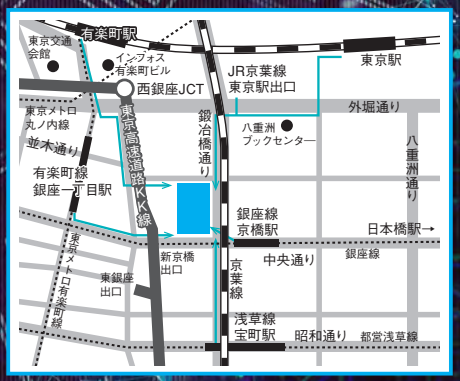
日　時

令和2年 1月14日（火） 13:00～17:00

〈定　員〉500名

会　場

東京コンベンションホール　東京都中央区京橋三丁目1-1　東京スクエアガーデン5F



参加お申し込み

右記のサイトよりお申し込みください。　https://www.jst.go.jp/stpp/sympo/2019/q-leap.html

プログラム

13:00～13:15
- ▶主催者挨拶　文部科学省
- ▶来賓挨拶　株式会社三菱ケミカルホールディングス　小林 喜光

13:15～14:00
- ▶基調講演　「光格子時計」東京大学　香取 秀俊

14:00～14:55
- ▶各技術領域の説明①　量子情報処理（主に量子シミュレータ・量子コンピュータ）
  - 14:00～14:05　領域概況　プログラムディレクター／慶應義塾大学　伊藤 公平
  - 14:05～14:35　Flagshipプロジェクト「超伝導量子コンピュータの研究開発」理化学研究所　中村 泰信
  - 14:35～14:55　基礎基盤研究「量子ソフトウェア」　慶應義塾大学　山本 直樹

14:55～15:10　休憩

15:10～17:00
- ▶各技術領域の説明②　量子計測・センシング
  - 15:10～15:15　領域概況　プログラムディレクター／東京大学　荒川 泰彦
  - 15:15～15:45　Flagshipプロジェクト「固体量子センサの高度制御による革新的センサシステムの創出」　東京工業大学　波多野 睦子
  - 15:45～16:05　基礎基盤研究「量子もつれ光子対を利用した量子計測デバイスの研究」京都大学　竹内 繁樹
- ▶各技術領域の説明③　次世代レーザー
  - 16:05～16:10　領域概況　プログラムディレクター／早稲田大学　遠藤 彰
  - 16:10～16:35　Flagshipプロジェクト　「先端レーザーイノベーション拠点」①光量子科学によるものづくりCPS化拠点　東京大学　石川 顕一
  - 16:35～17:00　Flagshipプロジェクト　「先端レーザーイノベーション拠点」②次世代アト秒レーザー光源と先端計測技術の開発　東京大学　山内 薫

主催：文部科学省　お問い合わせ先　科学技術振興機構（JST）　科学技術プログラム推進部　◎電話：03-5214-3403　◎Mail：q-leap-sympo@jst.go.jp